

# 2023年11月7日掲載 物流ニッポン

## 三菱倉庫&DTHD&第一貨物

### 効率的SC構築へ資本提携

#### 施設相互利用や事業開発

三菱倉庫、ディー・ティールホールディングス（DTHD）、平岡裕社長、山形市）と子会社の第一貨物（米田総一郎社長、同）は10月31日、効率的なサプライチェーン（SC）供給網の構築と輸送品質向上のため、資本業務提携を結

んだ、と発表した。各社施設の相互利用や新規事業に向けた連携などを想定しており、具体的な事業内容は今後協議する。

三菱倉庫がDTHDに出資した。出資額は明らかにしていない。

三菱倉庫は、医療・ヘル

スケア、食品・飲料、機械・電機、新素材を経営計画の重点分野に位置付け、事業拡大を推進。2023年3月期の連結売上高は300.5億9400万円だった。一方、DTHDの23年3月期の連結売上高は106.7億8400万円で、こ

のうち第一貨物が730億2100万円を占める。

三菱倉庫としては、東北・信越・北関東での輸送に強みを持つ第一貨物と提携することで、同地域で事業

の拡大を目指す。第一貨物は「もともと三菱倉庫とは取引関係にあり、アラ

イアンスを強化すること

で、地域や業務内容に応じたシナジー（相乗効果）を出せると考えた」（経営企

画部）としている。

三菱倉庫では電気自動車（EV）の納車前検査といった物流に付帯する事業も手掛

り、業務の枠を超えた新規事業の開発でも連携を図り、業務

範囲の拡大につなげる。

（宮崎菜里奈、土屋太朗）